

八幡平市田山実践区

- 「テーマ」
- 震災を超えて・新たな教育課題への取組
組織の見直し・地域コミュニティ再生の取組
 - PDCAサイクルによる推進の取組
年間を通じた全県共通課題・モデルプログラムの取組
 - 地域ぐるみによる「いわての復興教育」の取組
防災教育・被災地支援交流・地域を担う人材育成の取組

活動の様子



『心豊かな田山っ子を育てよう』

～対話のある明るい家庭・地域…地域活動への積極的な参加を～

1 地域の教育課題

- ・全県共通課題である「読書活動の推進」「家庭学習の充実」・あいさつ運動・地域の伝統文化継承などを含めた世代間交流
- <課題の裏付けデータ>
- ・家庭学習 1 時間以上の取組み
小 4=38.8%、小 5=53.3%、
中 1=53.6%、中 2=44.4%
 - ・読書時間なし
小 4=16.2%、小 5=28.2%、
中 1=33.9%、中 2=37.5%

2 役割分担と年間の計画

- 課題解決のためのそれぞれの役割
- <子ども>
読書・学習への取組み
あいさつの励行
 - <保護者>
子どもの取組みへの協力・サポート
しつけ
 - <先生>
学習支援
 - <地域>
見守り活動
伝統文化継承の指導
 - <行政>
活動の場の提供
情報提供
- 課題解決のための年間の取組
- 読書運動・家庭学習の推進
 - あいさつ運動の推進
 - 伝承活動・世代間交流の推進
 - 環境保全活動
 - 家庭や地域での安全確保

3 取組の様子

【特徴的な取り組み】
沢目実践班では「音読の出前」に取り組んだ。出前する子どもたちも、それを聞く地域の大人も、初めての経験であった。
地域の方の自宅を訪問し、玄関のベルを押すときから、すでに緊張がピークに達していた。「音読の出前」であることを告げ、教科書を読み始めると、黙ってにこやかに聞いてもらった。

【実践区の活動】
実践区として「ノーテレビ・ノーメディアデー」を設定した。テレビなどを見ない分、学習や読書に取り組み、家族との会話ができた。低学年では、体を休めることができたなどの声もあった。
世代間交流事業も兼ねて、地域の特産であるそば栽培を行った。そばまき、そばかりに取り組み、収穫の喜びを味わうことができた。
推進大会では、親に地域の方を加えたメンバーで読み聞かせを行い、好評であった。また「理科ばなれ」を考える意味で、サイエンスショーを実施し、大人も子どもも楽しく理解を深めた。

4 課題解決を判断する評価の方法

家庭学習・読書の活動について、成果（指標）は数値化していない。学校・家庭内にとどまってしまう傾向の強い全県共通課題への取り組みを、地域に出向いて行ったこと（活動指標）が成果である
実践区全体として地域を巻き込んだ活動を心掛けたことで、子どもと大人のコミュニケーションが深まったとの声がある。